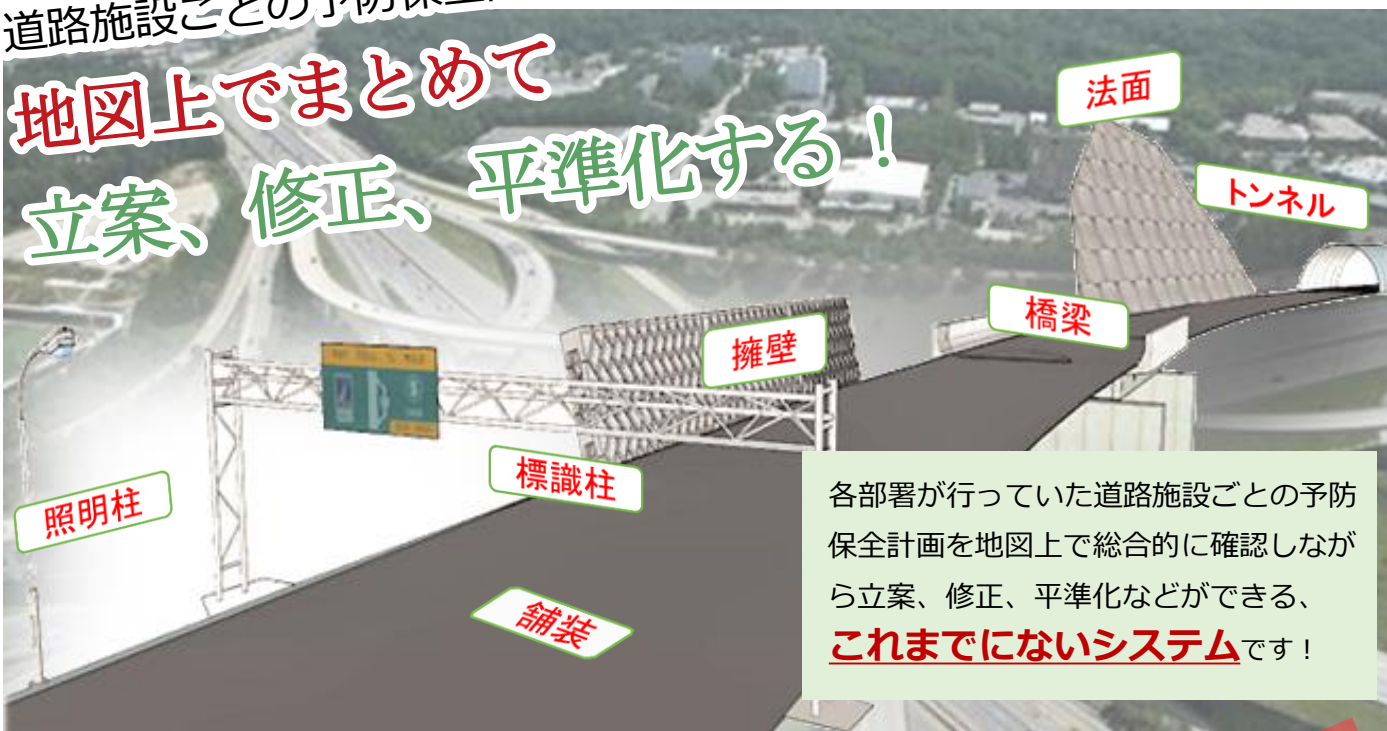


道路施設ごとの予防保全計画を

地図上でまとめて
立案、修正、平準化する！



各部署が行っていた道路施設ごとの予防保全計画を地図上で総合的に確認しながら立案、修正、平準化などができる、**これまでにないシステム**です！

「道路保全計画システム」

橋梁長寿命化計画策定機能がさらに充実！

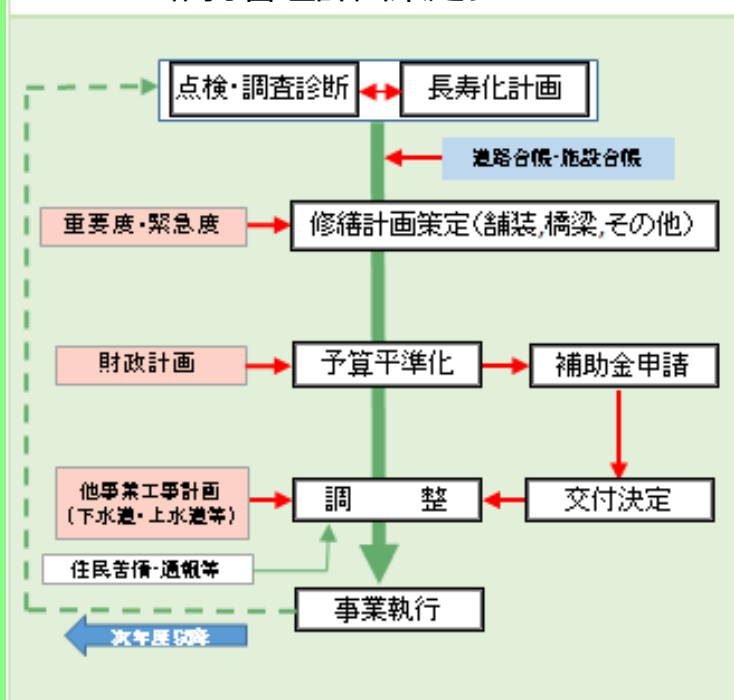
Version UP !

システムの 特長

個別に策定していた予防保全計画を総合して立案可能！

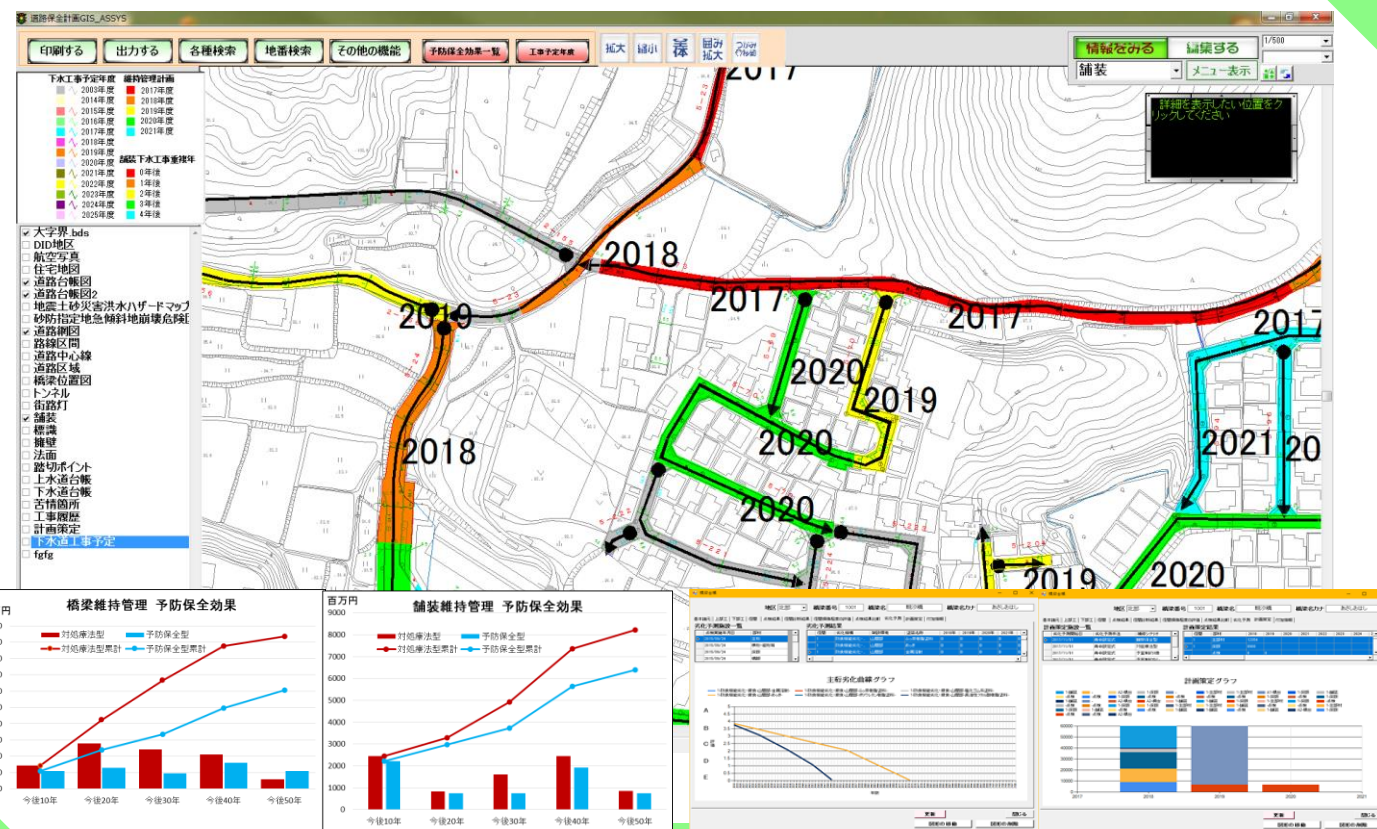
- 点検結果及び補修履歴等の蓄積データ活用により劣化予測と精度の高い修繕計画策定が実現します。
- 施設台帳や点検結果をもとに立案が行えます。（橋梁は「橋梁長寿命化修繕計画」をそのまま取り込むと共に、地図上に位置が表示されます）
- 各種重要度を考慮でき、計画者自身による並べ替えができるなど、より実態に合った仕組みになっています。
- 上下水道工事について、舗装工事との連続年次が地図上で確認できるため無駄な舗装工事を調整できます。
- 予防保全型、対処療法型を比較し、経済効果を見ながら調整が出来ます。

維持管理計画策定フロー



実行性のある計画が補助金・交付金申請に反映できます。

■ 画面イメージと主な管理データ

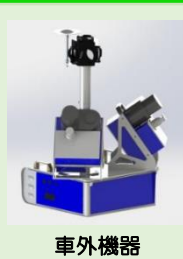


施設ごとにコスト削減効果を確認しながら予防保全計画が策定できます。財政計画や補助金、交付金申請のバックデータの作成が手軽にできます。

道路現況平面図	背景図として道路台帳付図が使用可能で、調書と合わせて管理が出来ます。また、MMSによる3次元データや画像の格納が可能で、舗装修繕工事の発注時に平面図などは精度よく作図できるため（汎用CAD等利用）、測量をやり直す必要はありません。
施設基礎情報	各施設台帳を位置情報とともに管理できます。
点検・補修情報	各種点検結果及び補修情報を記録できるため、必要な時期に予防保全計画の更新が可能です。
施設の重要度情報	修繕計画の優先度などを立案する際、GISの特徴を生かし、必要に応じて緊急輸送路や主要道路、避難路、通学路などの線情報、また、DID地区や用途地区などの面情報を容易に付与することができます。
維持管理情報	点検結果から、施設の重要度を考慮し、修繕の費用を算出、また、年度予算に合わせた年間維持管理費の平準化シミュレーションが出来ます。
占用物情報	地下埋設物や電柱等の占用物情報を管理できます。また、占用許可事務（占用料計算等）の支援が出来ます。

■ オプション -- MMS（3次元移動式レーザー計測）

高精度レーザスキャナによる三次元点群データの取得に加え、IMUおよびGPSにより計測車両の姿勢や位置を正確に捉えることでより高精度な情報を取得します。計測された点群データを様々な表現で表示することが可能で、同時に撮影された写真と点群は完全一致しますので、よりの確な測定や図化が行えます。



■ お問い合わせは弊社HPか株式会社日本インシーク 空間事業部まで Email : ict-div@insiek.co.jp